

ベトナム沖15-2鉱区ランドン油田の権益期間延長について

各位

当社(社長:平井 茂雄)のプロジェクト子会社である日本ベトナム石油(社長:和佐田 演慎、以下「JVPC」)は、ベトナム沖15-2鉱区にてオペレーターとして原油を生産しておりますが、今般、同鉱区内ランドン油田における操業に関しベトナム政府より5年間の権益期間延長が承認されましたのでお知らせいたします。

JVPCは、15-2鉱区権益の46.5%を保有し、パートナーのPVEP社(ベトナム国営石油会社PetroVietnamの子会社:17.5%)、Perenco Rang Dong社(仏系石油開発会社 Perenco社の子会社:36%、以下「Perenco」)と共に、同鉱区の開発・生産活動を行っております。

延長承認取得前は2020年4月6日に鉱区期限が切れることになっており、数年前よりPetroVietnamならびにベトナム政府と鉱区期限延長につき協議を進めておりましたが、最終的にJVPCならびにパートナー各社によるこれまでの貢献が評価されると共に、今後ランドン油田においてHCG-EORプロジェクト(※)を実施するため、2025年4月6日までの5年間の鉱区期限延長が認められたものです。

なお、鉱区期限が延長される2020年4月7日からの権益比率は、JVPCが39.5%、PVEP 30%、Perenco 30.5%となります。

ベトナム沖15-2鉱区では、1992年10月の鉱区権益取得以降、JVPCがオペレーターとして探鉱活動を実施し、1994年6月、試掘1号井でランドン油田を発見いたしました。

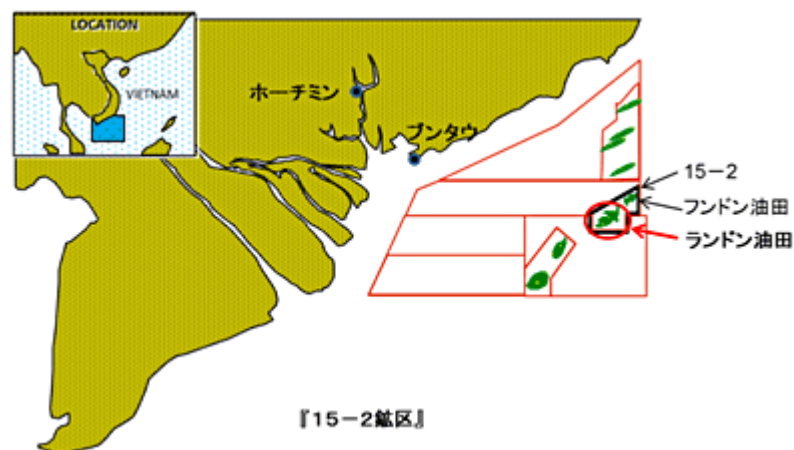
その後、評価・開発作業を経て1998年8月から生産を行っており、2008年9月に生産を開始した同鉱区内のフンドン油田と合わせて、これまでの累計生産量は1億9千5百万バレルに達しております。

また今年9月にはLTI (Lost Time Injuries, 休業災害)10年間ゼロの記録を達成しており、安全操業を継続中です。

当社はベトナムをコア事業国の一つと位置付けており、今後も同国での石油・天然ガス開発事業に積極的に取り組んで参ります。

(※) HCG-EORプロジェクト:炭化水素ガス(hydrocarbon gas)を油層に圧入することにより石油の回収率上昇(enhanced oil recovery)を図るプロジェクト。

鉱区図



以上

【ベトナムプロジェクトの概要】

1. 『15-2』 鉱区について

ベトナム沖 15-2 鉱区の参加企業およびその権益比率（2013年11月現在）：

(1) ランドン油田

参加企業	権益比率	株主構成
日本ベトナム石油（株）（JVPC） Japan Vietnam Petroleum Company Limited	46.5%	JX日鉱日石開発（株）：97.1% 三菱商事（株）：2.9%
Perenco 社 Perenco Rang Dong Limited	36.0%	仏系石油開発会社 Perenco：100%
PVEP 社 PetroVietnam Exploration and Production Corporation	17.5%	ペトロベトナム（ベトナム国営石油会社）：100%

(2) フンドン油田

参加企業	権益比率	株主構成
日本ベトナム石油（株）（JVPC） Japan Vietnam Petroleum Company Limited	64.5%	同上
PVEP 社 PetroVietnam Exploration and Production Corporation	35.5%	同上

2. 日本ベトナム石油株式会社について

- (1) 名称：日本ベトナム石油株式会社（英文名）Japan Vietnam Petroleum Company, Limited
(2) 設立：1992年8月21日
(3) 所在地：本社…東京都千代田区大手町2-6-3
ベトナム事務所（所長：大橋 秀俊）…Petrovietnam Towers 7th floor,
No.9 Hoang Dieu St., Vung Tau,
S.R. Vietnam
(4) 代表者：取締役社長 和佐田 演慎（JX日鉱日石開発（株） 常務執行役員）
(5) 資本金：225億3千万円
(6) 事業目的：ベトナムにおける石油、天然ガス及びその他鉱物資源の探鉱・開発・採取ならびに鉱業権の取得・売買及び貸借等

3. 沿革

- 1992年 6月 ペトロベトナムとの間で15-2 鉱区探鉱権益取得の基本合意書締結
8月 日本ベトナム石油（株）設立
10月 ペトロベトナムとの間で生産分与契約調印
1994年 4~7月 試掘井ランドン Rang Dong 1号掘削
(2回の出油テストにて合計日量14,400バレルの原油出油に成功)
1995年 5~7月 試掘井フンドン Phuong Dong 1号掘削
(2回の出油テストにて合計日量1,100バレルの原油・コンデンセートの出油及び800立方フィートのガスの産出に成功)
1996年 6月 商業発見宣言
1998年 8月 生産開始
2000年 2月 コノコ社に対しファームアウト実施
2001年 11月 随伴ガスの出荷開始
2002年 8~9月 8月：ランドン油田東部地域より生産開始、9月：ランドン油田南部地域より生産開始
2005年 6月 ランドン油田中部地域より生産開始
ランドン油田生産開始より累計生産量1億バレル達成
2006年 2月 ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトがCDM※として国連機関に登録
2008年 9月 フンドン油田生産開始
2008年 10月 新FSO就役
2011年 5月 CO2-EORパイロットテスト実施
2011年 9月 HCG-EORパイロットテスト実施
2012年 10月 E1Aプラットフォーム設置完了

※クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)